

第153回_エコ塾

「紙資源の効率的な再資源化推進と高度化法認定の展望」

会社説明資料

Information



山崎紙源センター

Agenda

- ▶ 0 1 会社情報
- ▶ 0 2 事業概要（リサイクル事業について）
- ▶ 0 3 事業概要（廃棄物処理について）
- ▶ 0 4 ドライブECOするーについて
- ▶ 0 5 再資源化事業等の高度化に関する
認定取得を目指す具体的な活動や展望





01

会社情報
About US



山崎紙源センター

▼ 会社情報

会社名 株式会社 山崎紙源センター

代表者 代表取締役 山崎孝一

設立 昭和57年7月23日

所在地 宮崎県宮崎市橘通西5丁目6番57号山崎ビル5階

主な事業内容

- 1、製紙原料の収集及び販売
- 2、繊維品の収集及び販売
- 3、金属類の収集及び販売
- 4、紙製品の卸小売
- 5、一般廃棄物の収集運搬及び処理業
- 6、産業廃棄物の収集運搬及び処理業
- 7、特別管理産業廃棄物の収集運搬
- 8、建物・構築物の解体工事の請負並びに施工管理
- 9、古物商



山崎紙源センター



02

リサイクル事業について

Mission/Vision/Value



山崎紙源センター

圧縮施設

Mission

限りある天然資源を大切に。

● 資源の節約

新しい紙を作るためには木材が必要ですが、古紙をリサイクルすることで木材を使わずに済む。これにより森林伐採を抑制し、自然環境を守ることができる。

● エネルギーの節約

新しい紙を作るよりも、古紙をリサイクルする方がエネルギー消費が少なく済む。例えばリサイクル紙の製造には、未処理の木材から紙を作る場合よりも最大で40%も少ないエネルギーで済む。



山崎紙源センター

破碎施設

Mission

環境、経済、資源保護

◎ 資源の有効活用

伐採された木材や建築廃材などを再利用することで新たな資源の採取を抑制し、森林資源の枯渇を防ぐ。

◎ 環境負荷の軽減

焼却によるCO₂排出量を削減し、地球温暖化対策に貢献できる。また、新たな資源採取に伴う環境破壊を抑制する。



山崎紙源センター

缶ビンペットの選別ライン

Mission

混ぜればゴミ、分ければ資源。

・経済的メリット

アルミ缶やペットボトルの再生資源は、高価値なリサイクル資源として流通しており循環型社会において重要な役割を果たす。国内でリサイクルが進めば輸入資源への依存度も減少し、経済の安定にも寄与する。

・持続可能な社会の実現

リサイクルを通じて、私たち一人ひとりが環境問題への意識を持つことができ、「持続可能な社会（SDGs）」の実現に繋がる。特に「12つくる責任、つかう責任」といった目標に関連している。



山崎紙源センター

鉄、非鉄スクラップ

Mission

サーキュラーエコノミーの実現

● ゴミの削減

使い終わった金属製品をリサイクルする事でゴミの量が減り、埋め立て地の延命にも繋がる。家電やパソコンなどに含まれる貴金属も再利用でき無駄がなくなる。

● 半永久的にリサイクルが可能

金属は熱や加工を加えても性質がほとんど変わらないため、何度でもリサイクルが可能。紙やプラスチックはリサイクルするたびに品質が落ちるのに対し、金属は繰り返し使っても品質が保たれる。



山崎紙源センター



03

廃棄物処理について

Mission/Vision/Value



山崎紙源センター

現場に合わせてコンテナを設置

産廃コンテナ運搬

Mission

効率よい収集運搬を行う為に

・作業効率の向上

排出場所にコンテナを設置することで、その場で廃棄物が投入でき、一括回収できることで運搬回数が減り、
運送費の節約になる。

・安全性の向上

廃棄物をコンテナ内に保管できるため、飛散・流出・転倒のリスク低減。



2 m³コンテナ



8 m³コンテナ



山崎紙源センター

安定型埋立

Mission

環境保全と安全な廃棄物処理。

● 廃棄物の適正処理

安定型埋立施設は、処理が難しく有機物を含まない廃棄物を埋め立てるのに設計されています。これにより廃棄物が不適切に処理されるのを防ぎ健康や環境への影響を最小限に抑える。

● 廃棄物の長期安定性の確保

安定型埋立施設は、埋め立てる廃棄物が長期間にわたって安定して存在できるよう設計されています。これには適切な埋立方法や管理が必要。

埋め立てた廃棄物が悪化せず、放置されていても周囲の環境に影響を及ぼさないことが求められる。



山崎紙源センター



04

ドライブECOスルーについて

Mission/Vision/Value



山崎紙源センター

ドライブECOするー

福岡エリア

15拠点

宮崎エリア

13拠点



① 24時間365日いつでも持ち込みOK！

② 受け入れはいつでも無料！

③ 大量持ち込みも大丈夫です！



山崎紙源センター



05

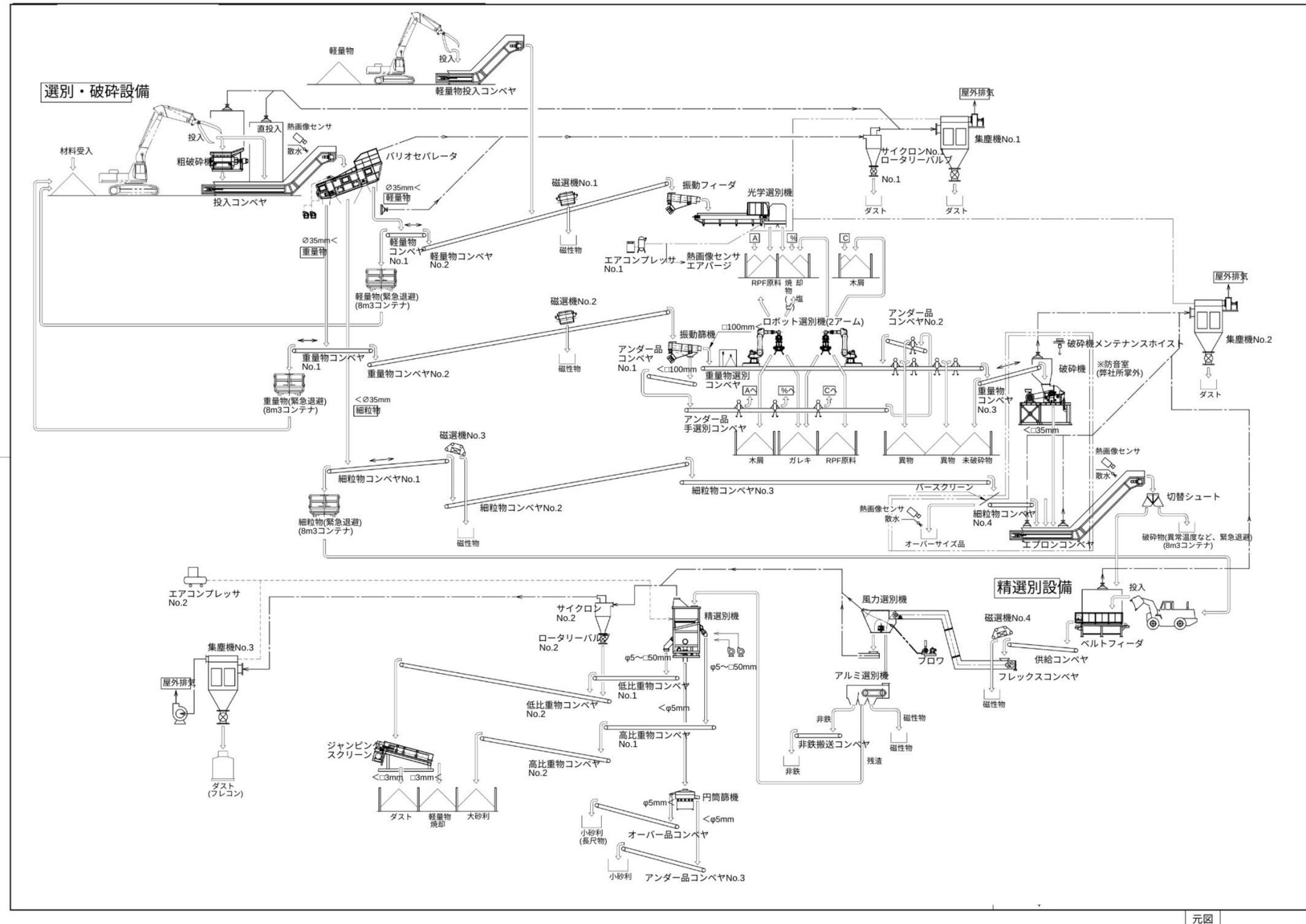
再資源化事業等の高度化に関する
認定取得を目指す具体的な活動や展望

Mission/Vision/Value



山崎紙源センター

最新選別ラインを用いて選別を行う設備の導入



認定取得に取り組もうと思った背景

- ① 過酷な土間選別から機械選別への労働環境の改善
- ② 許可不要になることで県外産廃の取り扱いが可能に
- ③ 高性能な選別機を導入することでCO2排出量低減に寄与



① 過酷な土間選別から機械選別への労働環境の改善

ビフォー

産廃を土間で選別

- ・ 過酷な労働環境
- ・ 衛生・環境面での問題
- ・ 安全リスクが高い



アフター

機械で選別

- ・ AI自動選別機や、光学選別機にて
- ・ 産廃に触れる機会が減る
- ・ 労働災害の削減



2 一部の地域を除いて宮崎県への県外産廃の搬入ができない。

ビフォー



アフター



県外産廃の制約が外れることで
運搬距離を大幅に削減できる。

3 高性能な選別機を導入することでCO2排出量低減に寄与

ビフォー

アフター



木くず

金属くず

混合廃棄物



廃プラスチック類



古紙類

Thank You!

今後とも山崎紙源センターを
よろしくお願いいたします



山崎紙源センター